

第3回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 平成30年11月6日（火） 19時 ～ 20時30分

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員8名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員3名

4 議 事

（1）仮設校舎及び長寿命化改修校舎の教室について

前回の委員会で意見のあった「放課後児童クラブの教室」、「職員室」について、美和小校長より、学校としての考え方を下記のとおり報告があった。その後、協議を行い、委員から出された意見について留意しながら、学校の考え方をベースに教室整備を進めることを委員会に諮ることとした。

[学校の考え方]

「放課後児童クラブ」の教室は、クラブの運営者、教育委員会の担当者とも協議し、仮設校舎、長寿命化改修校舎ともに通常教室を第一候補、図工室兼美術室を第二候補としたい。

「職員室」については、職員数が現在の倍の35名程度となるが、他の義務教育学校等の職員1名当たりの平米数をみれば必ずしも狭いとは言えず、また、同程度の学校の活用の現状を伺ったところ机の配置を工夫すれば何とかできるのではないかと考えている。

【委員意見】

○放課後児童クラブの教室について

- ・通常教室の利用ということであるが、義務教育学校になれば中学生も同じ校舎に入ることになるので、そのあたりも配慮してほしい。
- ・児童クラブ利用者の個人情報の管理、環境衛生面について配慮してほしい。
- ・神戸小の児童がどのくらい利用するのか調査をし、放課後児童クラブの教室が手狭にならないように配慮してほしい。

→まずは、12/13 開催予定の神戸地区進捗報告会に、教育委員会の担当者から美和小の放課後児童クラブの概要を説明させていただきたいと思う。その後、保護者対象の会なども持ちながら、年度内にある程度の利用予定者数の把握をしていきたい。（事務局）

(2) 仮設校舎の位置について

事務局より仮設校舎配置案として2案（「管理・特別教室棟と並列にグラウンドに2棟の案」、「管理・特別教室棟と並列にグラウンドに1棟、県道沿いにグラウンドに1棟の案」）が示された。その後、協議を行い、「1棟あたりの長さを短くし3棟並列にして県道側に寄せる案」も加えて、教育委員会が行う次年度の設計の中で検討していただくこととした。

いずれにしても、仮設校舎はグラウンドに設置する方向とし、委員会に諮ることを決定した。

【委員意見】

- ・なるべくグラウンドを広く使用できるような仮設校舎の設置にしてほしい。
- ・グラウンドに仮設校舎を設置することはやむを得ないが、将来的に駐車場や部室やテニスコートの設置などのことを考慮し、周辺の農地を取得して、グラウンドを拡大してはどうか。
- ・仮設校舎設置期間中は、江山中のグラウンドを使うことになると思うが、野球・サッカーといった部活とスポ少の活動が同時にできるのか。
→部活とスポ少の活動時間をずらしたり、学年のブロック制を新たに組むにあたって小学生が中学生と一緒に部活動を行ったりといった工夫ができないか、これから検討する必要があると思う。（事務局）

(3) 校名について

条例改正が伴うことから、年度内に委員会としての校名案を決定していくことを確認した。

校名の募集の有無について議論したところ、地域在住の方を中心に、江山中校区の出身者や教職員など「ゆかり」のある方を対象として募集する方向とし、委員会に諮ることを決定した。また、募集に際しては児童生徒にも関わらせたいという意見があった。

(4) 進捗報告会について

日程の決定している美穂・神戸地区は部会長が報告し、大和地区は部会長か副部会長のいずれかが報告することを決定した。

部会員は在住の地区で開催されるときに、教職員3名については分かれていずれかの地区の会に出席することとした。

教育環境部会の検討事項、これまでの検討内容についてスライドを用いて説明することとした。

5 その他

- ・次回の部会を、12月17日（月）19:00～20:30 江山人権福祉センターで開催。